

政策推進事業

1. 「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業

南花台をモデル地区と定め、「ヘルスケア」や「エイジング」をコンセプトに、課題解決と地域の活性化を図りながら、安心して快適に住み続けられるとともに、まちの活力を維持し、新たな住民も民間投資も呼び寄せる多世代循環型のまちを整備するため、関西大学に受託研究を委託し、南花台地域の生活拠点化と開発団地の再生に向けた取組みをモデル的に実施した。

(1) 主な取組み内容

① 公民学連携による研究

地域住民を中心に、関西大学・大阪府・河内長野市医師会・(株)タニタ・(株)コノミヤ・UR 都市機構などと連携し、まちづくりを総合的に研究した。

② 地域のまちづくり拠点を整備

南花台地域を中心とした、地域の拠点として、コノミヤ南花台店2階の空き店舗を活用し「コノミヤテラス」を整備し、地域のまちづくりに必要な拠点のあり方を検証した。

③ 地域の課題解決に繋がる仕組みづくり

地域に必要なテーマとして、「健康仲間づくり」「生きがいくくり」「みんなの拠点づくり」「まちの情報発信」「子育て・子育て環境づくり」「ストック活用」の6つのプロジェクトを推進し、「健康寿命の延伸」と「元気な住民の活躍の場づくり」を柱に、継続的な地域課題の解決に繋がるまちの仕組みづくりに取り組んだ。

(2) 今後の取組み

今年度の取組みを継続しつつ、継続的な地域課題の解決に繋がるまちの仕組みづくりに取り組むとともに、次年度より、対象地域を拡大し、地域間連携によるまちづくりの効果性を検証しながら、それぞれの地域の資源や都市機能を生かしつつ、生活の質の向上を図るネットワーク型コンパクトシティの構築をめざす。

2. 南花台西小学校跡地に係る敷地確定測量登記業務

南花台西小学校跡地活用事業に伴い、小学校敷地を特定するため、当該土地の調査・測量及び地積更正等の表示に関する登記の嘱託及び地図訂正等に関する業務のほか、敷地を特定するのに必要となるすべての業務を実施した。

本業務の主な内容

① 公共用地境界確定

② 境界標埋設

③ 土地地積更正登記

3. 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国及び大阪府が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しながら、人口減少の抑制について戦略的・計画的に取り組むため、「河内長野市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定するとともに、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立と、その好循環を支える「まち」の活性化を図るため、「河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成 28 年 2 月に策定した。

(1) 有識者会議の開催

概要：総合戦略の策定に当たり、専門的見地から助言を得るとともに、幅広い意見を反映するため、市民をはじめ、産官学並びに金融機関や労働関係者などで構成する有識者会議を開催した。

期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 1 月

構成：合計 18 名 産業分野：7 名、教育・子ども・子育て：2 名、金融機関：3 名、労働関係者：1 名、公募市民：2 名、学識経験者：2 名、府職員：1 名

会議開催：5 回

(2) 市民アンケートの実施

概要：市の人口の現状と将来の展望を提示する「人口ビジョン」及び、地域の実情に応じた今後 5 か年の施策の方向を提示する「総合戦略」を策定するにあたり、その基礎となる市民の結婚・出産・子育ての希望、地方移住に関する希望などを把握するために市民アンケートを実施した。

期間：平成 27 年 5 月～平成 27 年 6 月

調査対象者：河内長野市に在住する 16 歳から 39 歳の市民 1,500 人

(3) 市民意見募集（パブリックコメント）の実施

期間：平成 27 年 11 月 27 日～12 月 28 日

意見件数：まち・ひと・しごと創生人口ビジョンへの意見 1 名 1 件

まち・ひと・しごと創生総合戦略への意見 4 名 6 件

4. 組織目標の明確化

「目標管理制度」を活用し、施政方針や総合計画などから、それぞれの部署の組織目標を明確にし、効率的かつ効果的に組織目標を達成する行政運営に努めた。

5. 行財政情報の収集

(1) ぎょうせい発刊の情報誌「ガバナンス」の購読

＜主な内容＞

- ・地方自治の現状
- ・自治体経営のエッセンス
- ・先進事例の情報

(2) 時事通信社が提供する行財政情報提供サービス「iJAMP」の利用

行財政情報提供サービス「iJAMP」が提供する、官庁・自治体の政策や予算関係の情報をインターネットの特性を生かしてタイムリーに受信し、政策課題の推進を図った。